

# 小松SSHだより

## 石川県立小松高等学校

第2号 H28年6月  
編集 :SSH推進委員会  
発行責任者 : 太田淳子

## 「課題探究」開講式・グループ活動

「課題探究」では、理数科2年生が少人数のグループ（数学:3グループ、理科:7グループ）に分かれて課題研究に取り組みます。これらの研究の成果は、校内SSH課題研究中間発表会（7月13日）、校内SSH課題研究発表会（11月3日）、石川県SSH生徒研究発表会（12月15日）、SSH研究発表会・課題研究ポスター発表会（12月中旬頃）、課題研究英語発表会（3月15日）で発表します。

4月13日（水）に「課題探究」の開講式が行われました。初めに太田校長からの激励の言葉があり、つぎにこれからの課題探究の流れについての説明と実験室の使用マナーについての説明がありました。その後各グループに分かれて、研究テーマについての話し合いを行いました。どのグループも課題研究に意欲的で、活発な意見交換を行っていました。



開講式



グループ活動の様子



## 「探究基礎」ガイダンス・ディベート

「探究基礎」は1年普通科の生徒全員が対象の学校設定科目で、SSH3期目から新しく始まりました。

まず、4月21日（木）に「探究基礎」のガイダンスが行われました。はじめに、普通科の生徒全員に対して本校のSSH3期目の概要についての説明があり、つぎに探究基礎の目的と1年間の流れについての説明がありました。その後、それぞれのクラスで最初の学習である「ディベート」についての説明がありました。5月からは各クラスの中をディベートのテーマ（「脳死を人の死と認めるべきではない」「日本は原子力発電をすべて廃止すべきである」など）ごとにグループ分けし、グループごとにテーマに対する意見を交わし合い、立論を作りました。そして肯定側、否定側に分かれてのクラス内マッチを行いました。6月9日（木）にはディベートの集大成として普通科全員でのクラス対抗の「ディベート大会」を行いました。



ガイダンス



各クラスでの活動



ディベート大会



# 「総合科学・関東サイエンスツアー事前学習」

「総合科学」は、物理、化学分野の先行学習および教科横断授業を通じた探究スキルの習得で、2年生で行う課題研究のための基礎技術を学びます。4月にまず「家庭」からはじまり、5月～6月は「物理」を学習しました。このあと、「化学」、「保健」、「数学」、「情報」、「倫理」を学び、2学期後半からはミニ探究活動、研究テーマ設定へと進んでいきます。

6月9日（木）には、関東サイエンスツアー（9/29～9/30）の事前学習を行いました。東京大学での研修先や2日目の研修先である東京工業大学、理化学研究所横浜研究所の説明を受け、自分たちで詳しく調べたあと、自分の興味関心や進路などを考えながら、研修を希望する施設の選択を行いました。



重力加速度の測定



コーヒーフィルターの落下運動



関東サイエンスツアー事前学習

## 小学校出前授業 ～小松市立中海小学校～

5月20日（金）、6月2日（木）に小松市立中海小学校で、本校の生物部、理化部、理数科の生徒が合同で出前授業を行いました。

5月20日は5年生を対象に行いました。顕微鏡の各部の名前と使い方の説明をしたあと、実際に顕微鏡を使って、バナナの道管、岩塩、シーチキン、オオカナダモ、ボルボックス、ミジンコ、ゾウリムシの観察の指導を行いました。

6月2日は6年生を対象に行いました。まず、ツツジの花をバラバラにして、花のしくみの説明をしました。次に、セロリの道管を色素で染めて、水の通り道の観察を行いました。最後に、光合成について学

ぶために、日光を十分に当てたアジサイの葉と当ててないアジサイの葉をヨウ素液で染めて観察しました。

小学生たちはみんな一生懸命で、楽しそうに実験に取り組んでいました。



5年生



6年生

## 小中学生向け おもしろ実験教室

5月28日（土）に本校の生物実験室で、生物部、理化部、理数科の生徒による小中学生向けのおもしろ実験教室を開催し、近隣の小中学校の生徒が参加しました。テーマは「身近なデンプンについて調べよう」で、ダイコン、ニンジン、タマネギなどの野菜のデンプンの形を顕微鏡で観察しました。また、ヨウ素液で染めて、デンプンの状態の変化についての実験をしました。

